

エスアールジータカミヤ株式会社

平成23年3月期 第2四半期 決算説明会資料



SRG Takamiya
SUPER RENTAL GROUP

平成23年3月期 第2四半期(累計期間)連結業績

販売費及び一般管理費の抑制により、利益は当初計画を上回りました

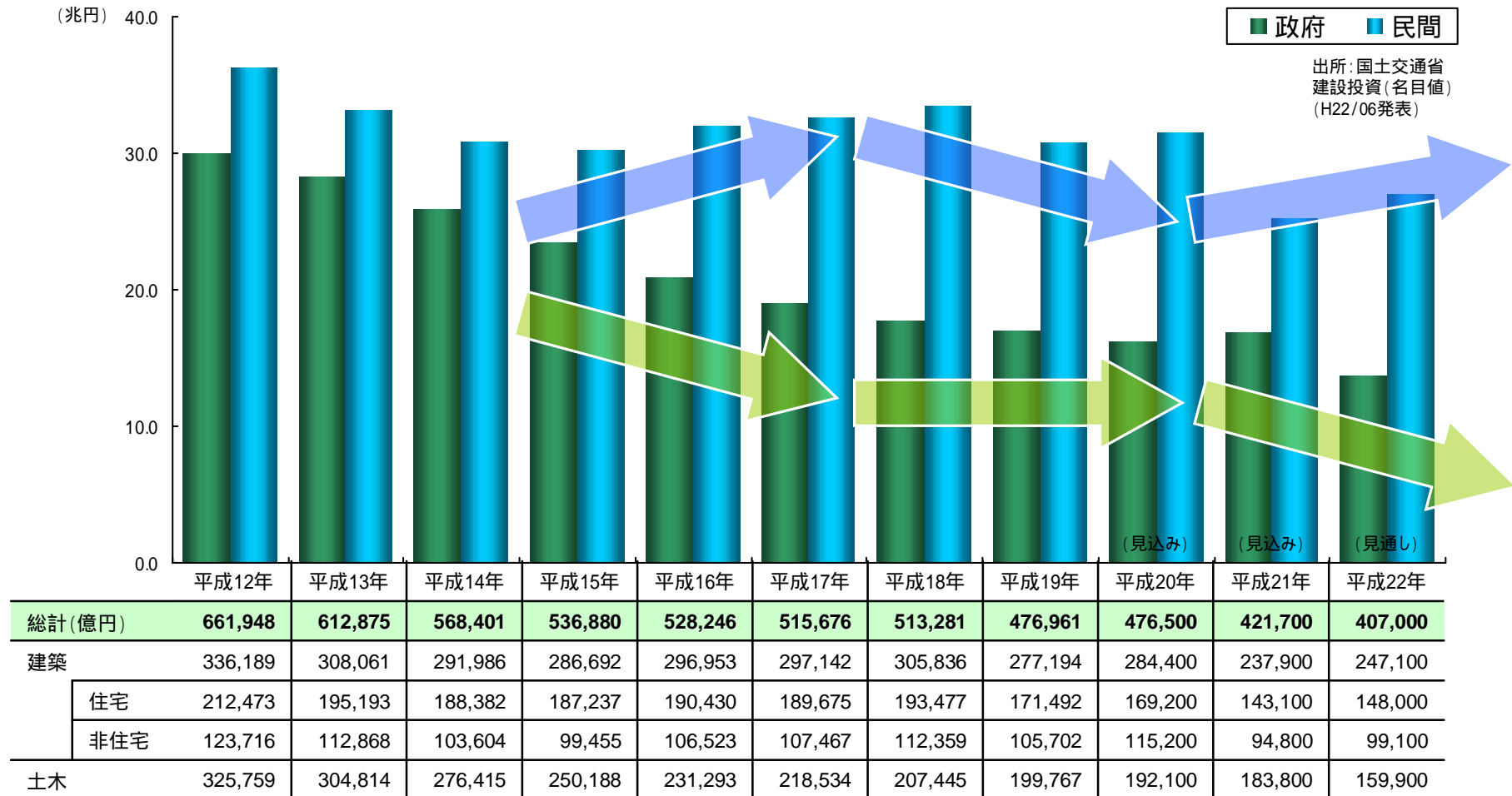
(単位:百万円)

	計画		実績		前期		対前年 増減率
	5/14発表	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	7,060	-	7,073	-	7,141	-	1.0%
営業利益	230	3.3 %	290	4.1%	491	6.9 %	40.8%
経常利益	120	1.7 %	202	2.9%	412	5.8 %	50.8%
当期純利益	20	0.3 %	56	0.8%	235	3.3 %	76.2%
一株当たり純利益	1.85円	-	5.19円	-	21.77円	-	-
一株当たり配当金	-	-	-	-	-	-	-
減価償却費 (CF計算書ベース)			1,307	18.5%	1,271	17.8 %	2.8%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前 利益)			1,598	22.6%	1,763	24.7 %	12.2%

注)「EBITDA」は、簡便的に“営業利益 + 減価償却費”にて算出しております。

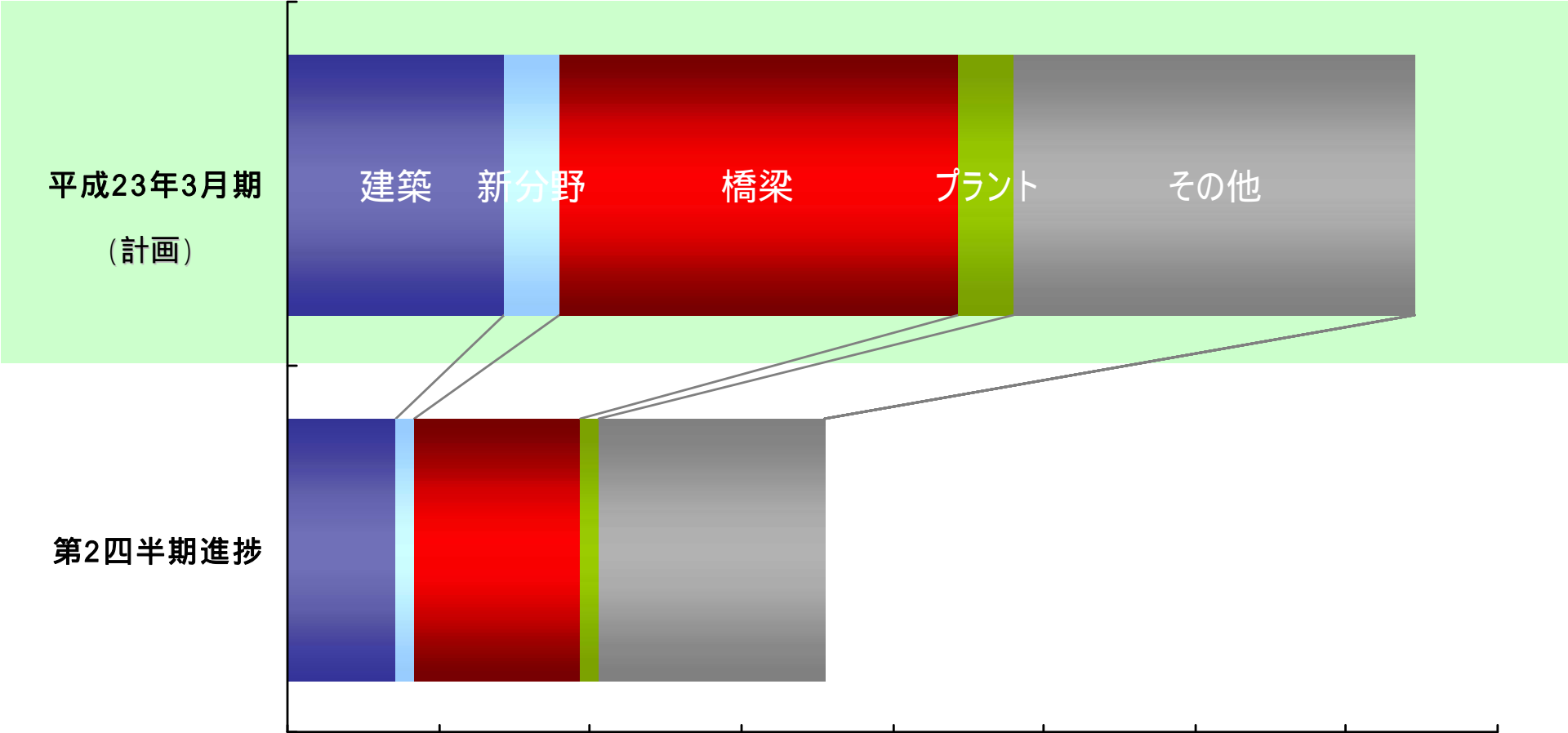
事業環境 国土交通省発表(6月)建設投資の推移

建設投資は右肩下がり、民間投資は今年度から再び回復傾向に



分野別売上高構成比 進捗状況


物件数の減少による受注競争で価格下落、収益性は前年同期を下回る
 環境変化に対応、新規分野開拓により売上高は当初計画どおりに進捗



(その他には子会社売上高等が含まれます。)

上半期の振り返り 既存分野

仮設機材レンタルは物件数の減少により価格競争が激化、受注優先で営業

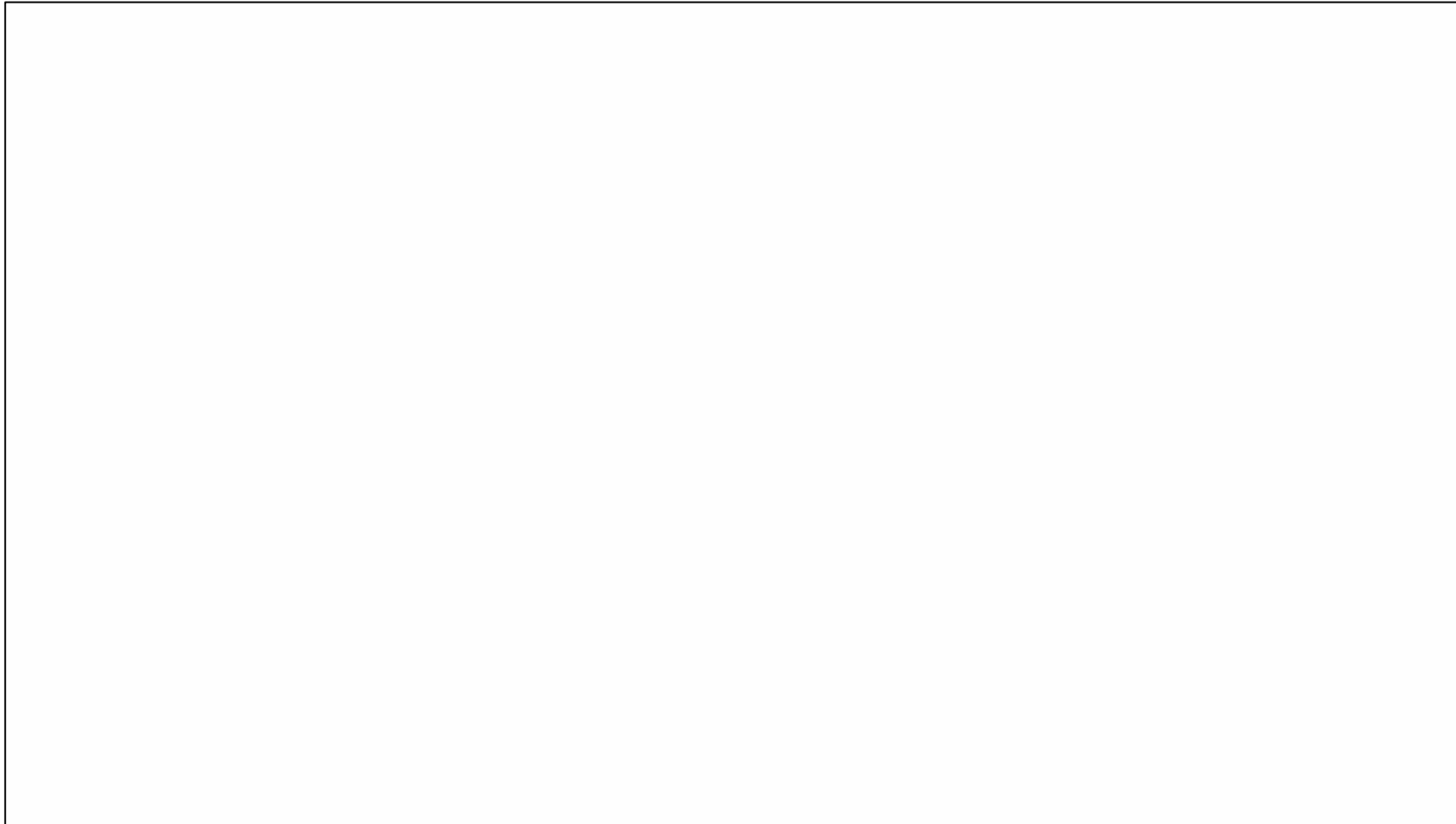
建築(ビル・マンション)	橋梁(高速道路・鉄道)
 <p>オフィスやマンションの改修計画が徐々に動き出し、新型機材・安全機材の導入で受注優先させました。一方、物件が減少したことによる熾烈な価格競争により収益の確保が難しくなっています。</p>	 <p>2Qに入り、リニア、北陸新幹線、高速道路の耐震補強など大型工事が、9月から稼働を始めています。しかしながら、仕事量を確保しても、競合が割り込んでくるため、価格が下落する問題があります。</p>
プラント	斜面防災工事(BH工、アンカー工)
 <p>青森、敦賀原子力発電所の着工延期もあり、全体的にはスローペース。発電所の関連施設はいよいよ動き始めています。</p>	 <p>「YTロックシステム」は、法面(のりめん)工事業界でかなり認知されるようになりました。大型工事の受注により機材稼働率は高水準を保っています。</p>

上半期の振り返り 新規分野

機材レンタルと工事(労務)をセットした「材工請」など順調に業績を伸ばす

<p>シールド工事(石島機材製作所)</p>	<p>工事部</p>
 <p>工事量が減少していますが、従来どおりの収益性は確保できています。グループネットワークを利用して、仙台地下鉄工事に出荷するなど、営業エリアを拡大しています。</p>	 <p>新たな受注形態として、仮設機材と工事(労務)をセットにした『材工請』を実施、安全機材と新型機材の提供を含め、通年5億円の目標に対して計画通り進捗しています。</p>
<p>環境事業部(フリードーム、他)</p>	<p>商事部</p>
 <p>最終処分場、スポーツ施設への営業を強化しています。土壌改良や雨・雪養生用テントなど下半期以降の物件を営業しています。太陽光発電システム、災害対策商品の取り扱いを準備中です。</p>	 <p>新型機材への入替えのため、ほか経年化機材、低稼働機材の売却を実施。海外プロジェクトに対しての仮設機材の販売を進めています。</p>

上半期の振り返り 新規分野「リフトクライマー」(補修・改修工事)



「リフトクライマー」販売促進用動画

上半期の振り返り 新規分野「リフトクライマー」(補修・改修工事)

マンション修繕、橋梁補修、煙突解体など40現場を受注、出荷台数は130基以上
(実績は平成21年3月からの累計)



100m以上超高層マンション修繕工事
(福岡県北九州市門司区)



ツインマスト1基+シングルマスト2基を併用したマンション修繕工事
(宮城県仙台市 / 施工: 仙建工業)



煙突解体工事
(某所)

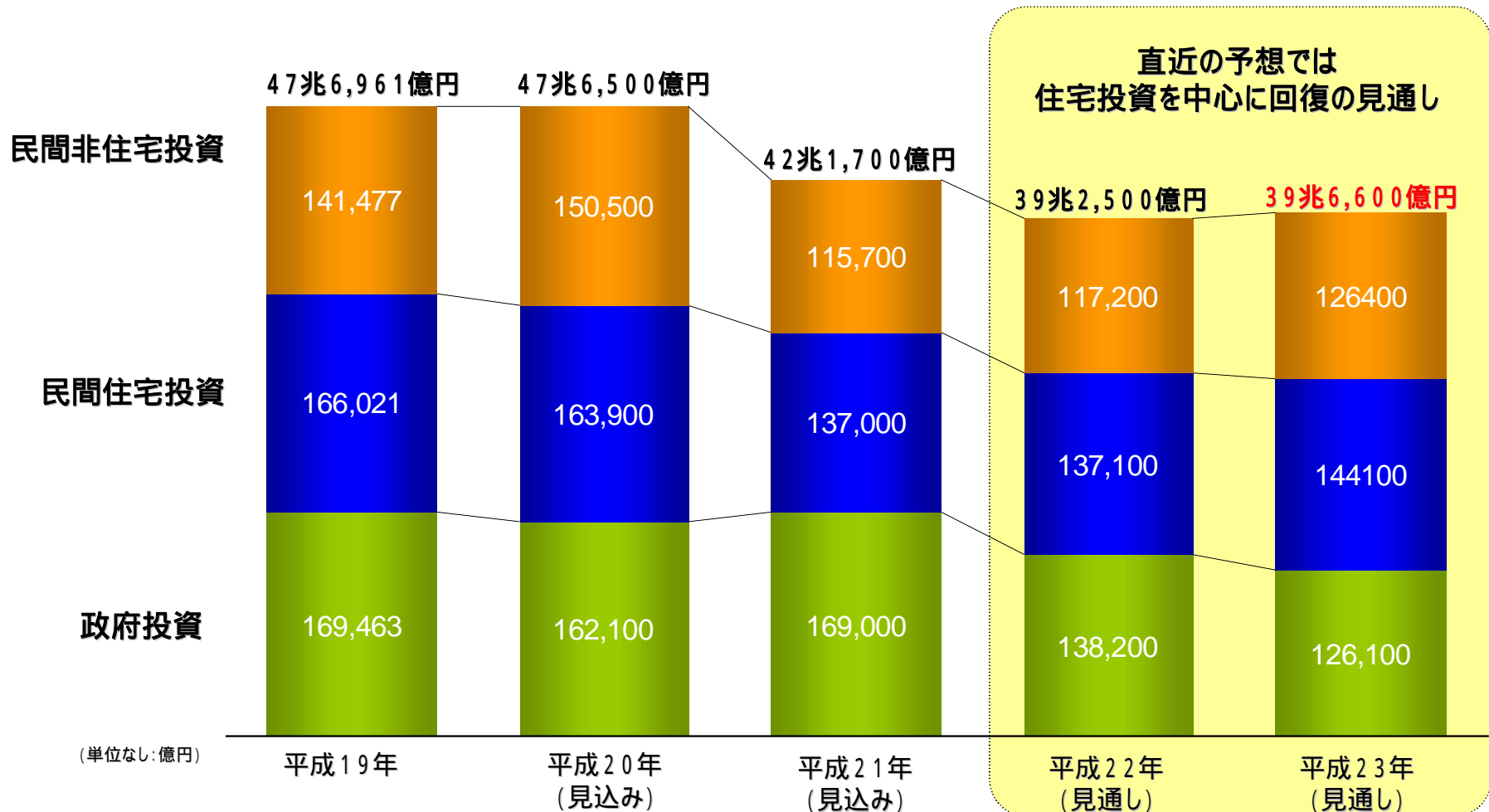
当第2四半期は、前期(6,500万円)を上回る実績で推移。

引合い件数も順調に増加し、中層建物向けの小型タイプを試験導入中。

今後の取組み

事業環境の推移 見通し(10月発表)

国内建設投資額推移 (建設経済研究所10月資料より)



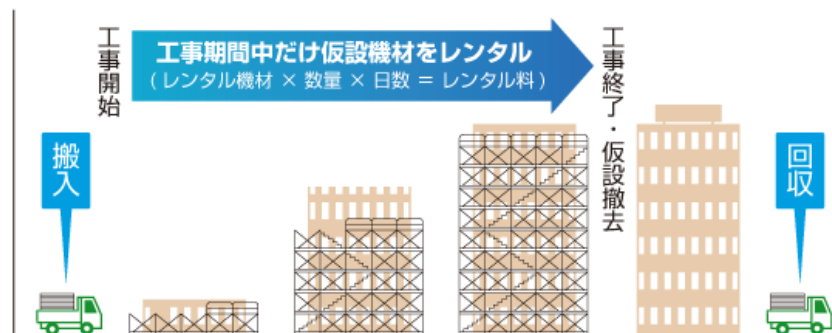
受注済み物件及び営業活動の状況

【大型物件の進捗】

山梨リニア実験線	出荷開始。(9月 ~)
北陸新幹線	出荷済み。 未出荷現場あり、今期末にかけて出荷予定。
第二東名高速道路	着工が遅れていた現場へのお荷開始
青森原子力発電所	1年以上の着工延期。
東北新幹線	営業活動中

【その他物件の状況】

大型物件



<ポイント>

着工当初は出荷量が少ないため直近業績への寄与は小さい。
基本料・運賃の請求のみで、レンタル料は経過日数分のみ。
一方、返納されると現場精算で滅失(紛失・不良)の請求が発生する。

新型リフトクライマーで中層マンションでのシェア拡大

安全性、施工性など優れた機能はそのままに、中低層の建築物でも対応できるようにダウンサイジング。現場条件によっては、従来機に比べ大幅なコスト圧縮が期待でき、従来工法(枠組足場)との競争力も備えました。

小型リフトクライマー(試験運転の様子)



従来工法
(枠組足場 + 養生シート)



昇降式足場工法
(リフトクライマー工法)

【開発の狙い】

1. 従来工法とのコスト競争力
2. 狭小地への設置を可能に
3. 運搬効率のさらなる向上

現在、テスト施工を実施。近日リリース予定。

👍 住「環境」を損なわない

施工箇所に足場が移動するので、施工箇所以外の日照や景観を損なうことはありません。長期にわたる大規模修繕工事でもストレスを感じさせません。

安全性にも優れ、運搬部材が少なくCO2排出削減
「工事作業環境」だけでなく「自然環境」も改善されます。

工事は『スーパー材工』、そして『サブコン』へ

技術力

計画・提案
図面サービス

リスク対策

緊急連絡網
任意労災保険
賠償責任保険

イメージ戦略

ビジネスマナー
制服等
(親しみ・信頼)

ネットワーク

作業員相互支援



仮設工事におけるブランドづくり



協力施工会社様

商品力

高品質・安定供給
(メンテナンス)
(継続購買)
安全機材・次世代仮設
商品開発(作業員視点)

営業力

知名度
選任営業担当

材工協力による
見積り能力の向上
(正確・スピード)

安全管理

安全衛生維持活動
(送り出し教育)
(安全大会)
(安全パトロール)


安全意識啓蒙

工事力

優秀な職長育成
常用作業員の確保
(雇用維持)

システムの対応
(作業日報)

平成22年9月27日 ホリー株式会社の全株式を取得



平成22年9月27日

各 位

会社名	エスアールジータカミヤ株式会社
代表者名	代表取締役社長 森田 豊
	(コード番号2445 東証第二部)
問合せ先	執行役員経営企画室長 安田 秀樹
	(TEL. 06-6375-3800)

ホリー株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成22年9月27日開催の取締役会において、以下のとおり、ホリー株式会社（以下、「ホリー」という）の株式を取得し、100%子会社化することについて決議し、平成22年9月27日付けで株式譲渡契約書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社グループは、建設用仮設機材のレンタルを主たる事業として展開しており、全国各地に支店・営業所、機材センターを配備するほか、連結子会社7社において仮設機材のレンタル及び販売を行っております。当社グループは、仮設機材をレンタル資産として保有し、レンタル可能な財・サービスとして広くお客様に提供することを事業の根幹とし、「安全・環境・施工性」の3つのキーワードを中心に、仮設機材のイノベーションを推進し、建設現場における安全な作業環境の提供に注力してまいりました。

一方、ホリーは建設用仮設機材の製造のバイオニアとして60年以上の業歴を有しており、「クランフ」等の自社ブランド製品の製造・販売を主たる事業としております。特に「ホリーアップ零（手すり先行足場）」、「SITASAN015（下さん）」等の新製品は、平成21年6月の労働安全衛生規則の一部改正により、仮設足場の事故防止措置が強化された際に、先行して顧客ニーズを捉え市場投入し、新規用に対応する安全商品として顧客からの高い評価を得ております。ホリーは、こうした優れた自社ブランド製品を数多く持つ開発主体型のメーカーとして、業界内での確固たる地位を確立しております。

当社は、同社を100%子会社化することで、建設用仮設機材の開発・製造・レンタル・販売の一貫体制を確立し、顧客ニーズに合わせた安全基準の高い仮設機材をスピーディーに幅広く市場投入することが可能となります。さらに、当社グループの安全基準が業界内でのデファクトスタンダードとして確立することが早期に実現可能となり、将来のさらなる企業価値の向上に繋がるものと判断いたしました。

2. 異動する子会社（ホリー）の概要

(1) 名 称	ホリー株式会社
(2) 所 在 地	東京都江東区富岡二丁目9番11号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森田 豊
(4) 事 業 内 容	建設用仮設機材の製造・販売・レンタル 住宅用建材の製造・販売
(5) 資 本 金	4億円

子会社化による損益計算書への影響は第3
四半期からとなります。
また、「のれん」の償却は5年間で実施します。

安全機材の開発と普及



商 号 : ホリー株式会社

代表者 : 代表取締役社長 森田 豊

資本金 : 4億円

本社所在地 : 東京都江東区

売上高 : 平成22年3月期 52億円

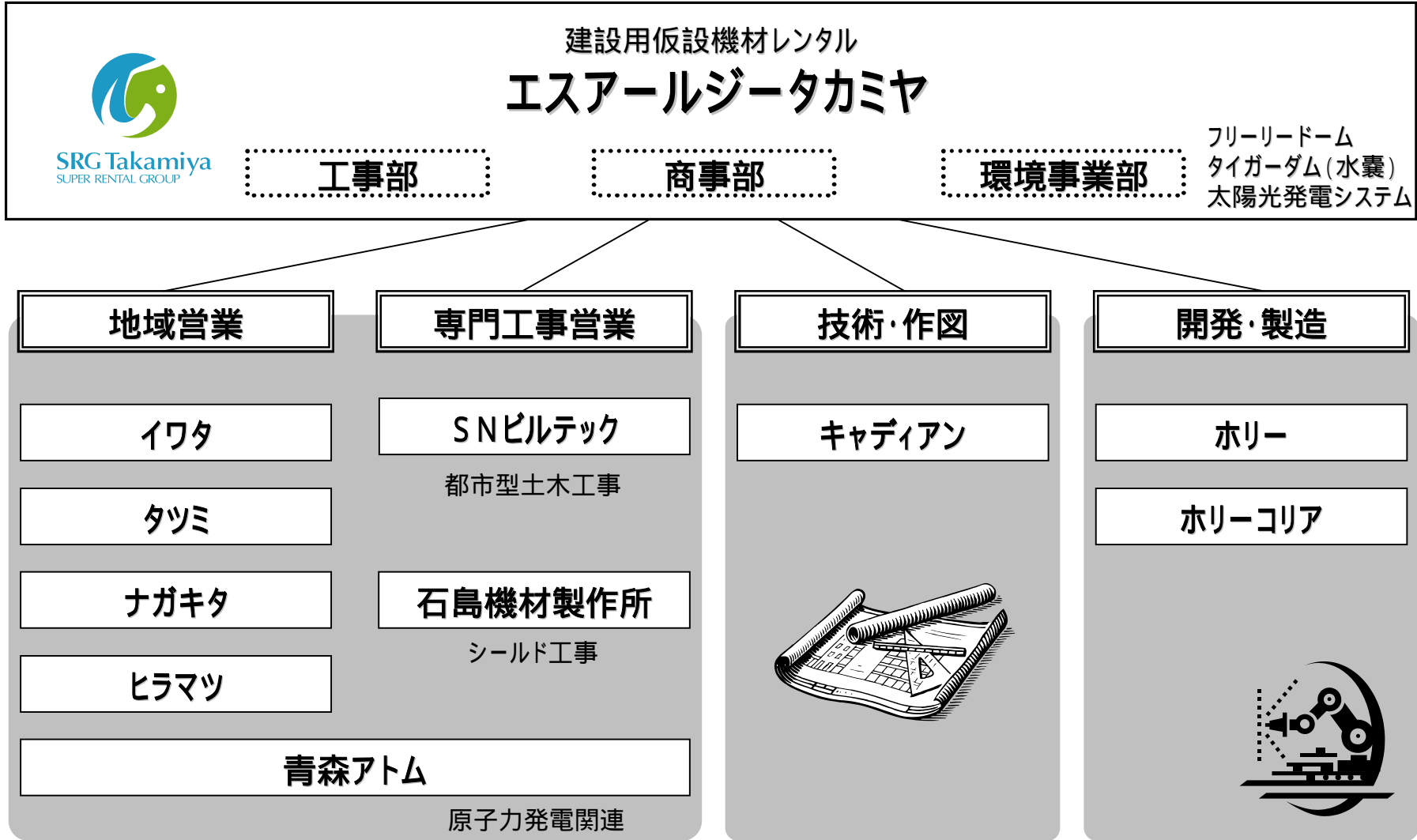
総資産 : 3,682百万円

事業内容 : 建設用仮設機材・住宅用建材の開発製造及び販売
建設用仮設機材レンタル
太陽光発電パネル設置架台の開発製造及び販売

環境分野への取組み



事業領域の拡大で企業成長を進め、グループ力で新たなステージへ



最新情報:「フリーリードーム」 あすと長町スポーツ施設に採用

当社のアルミ合金製膜構造ドーム建物「フリーリードーム」3棟(延べ床面積:約4,700平米)が、仙台市太白区のおすと長町土地区画整理エリアに建設予定のスポーツ施設として採用されました。



事業主である佐藤工業株式会社と地元仙台市とは、災害時の緊急避難所としてこの「フリーリードーム」を提供する災害時応援協定締結を予定しています。

名称	SRGあすとドーム(仮称)
建設地	宮城県仙台市太白区
建設工事着工	平成22年12月初旬(予定)
竣工	平成23年3月下旬(予定)
構造	アルミニウム合金骨材・膜構造平屋建
延床面積	約4,700平米(3棟)

平成23年3月期 通期連結業績予想







ホリー株式会社の買収で売上高・利益とも修正

(単位:百万円)

	修正前		対前年 増減率	修正後		対前年 増減率
	5/14発表	売上高比率		11/09発表	売上高比率	
売上高	14,900	-	2.5%	17,665	-	21.6%
営業利益	890	6.0%	31.2%	940	5.3%	38.5%
経常利益	700	4.7%	15.2%	713	4.0%	17.3%
当期純利益	350	2.3%	3.7%	356	2.0%	5.5%
1株当たり 当期純利益	32円32銭			32円87銭		
1株当たり 配当金	20.00円			20.00円		

参考資料

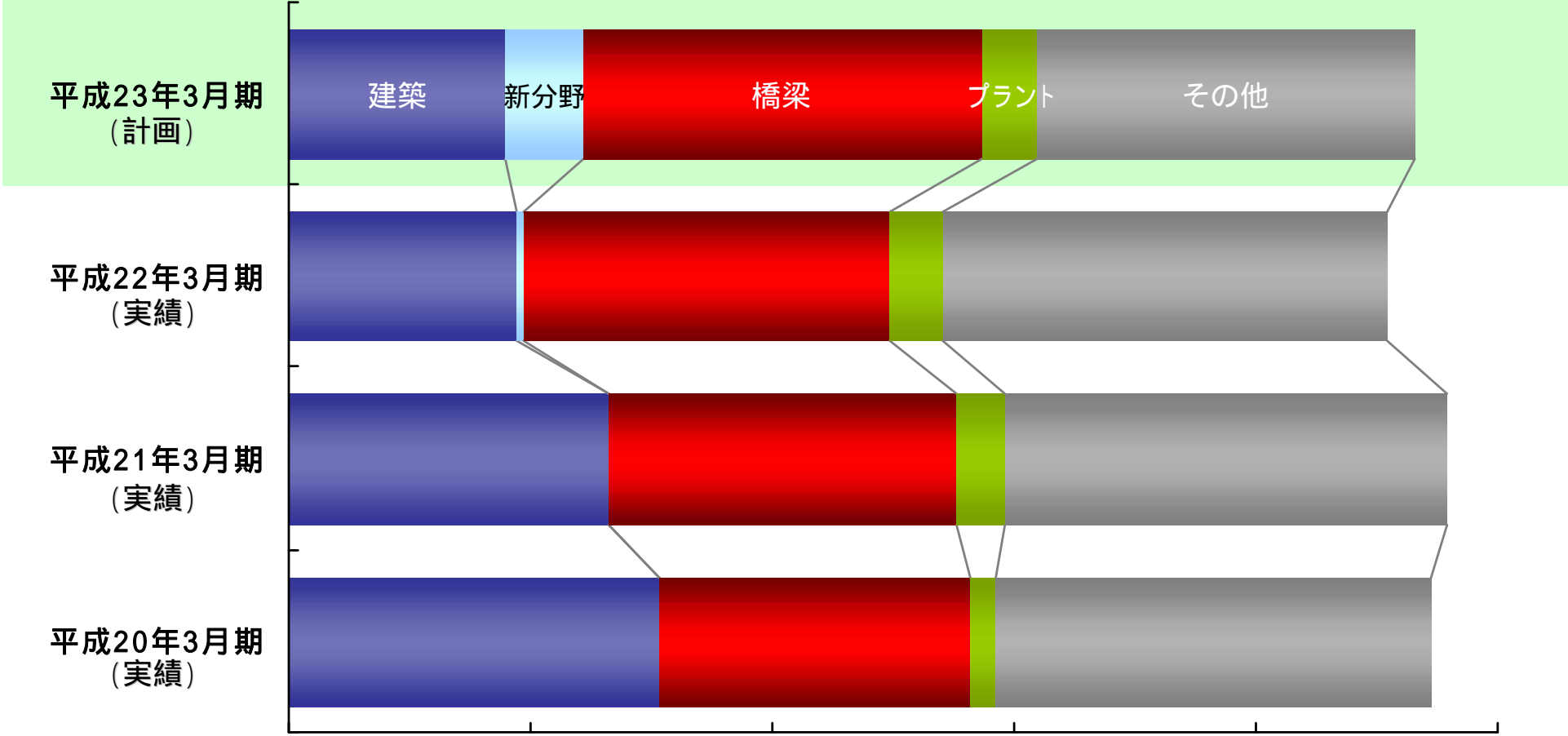
各事業分野における状況 (当社独自指標)

	建築 (新築)	橋梁 (新築)	土木	プラント	修繕	防災
市場性						

SRG シェア						
SRG 注力	(維持)		(シールド分野)			


(表の「矢印」、「記号」は当社判断です。)

分野別売上高構成比の推移



(その他には子会社売上高等が含まれます。)

会社概要

商号	エスアールジータカミヤ株式会社	
設立	昭和44(1969)年6月21日	
代表者	代表取締役社長 高宮一雅	
資本金	6億7,975万円	
従業員数	連結:606名 単体:341名 (平成22年9月末時点)	
登記本社	大阪府大阪市北区茶屋町19番19号 アプローズタワー	
営業拠点	<p>【支店】東北仙台、東京、名古屋、大阪、九州福岡 (計5)</p> <p>【営業所】盛岡、鹿島、市原、神奈川、北陸、京滋、広島 (計7)</p> <p>【機材センター】青森東通、岩手盛岡、宮城仙台、新潟横越、茨城水戸、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川川崎、神奈川愛川、静岡吉田、石川金沢、名古屋瀬戸、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、大阪岸和田、和歌山桃山、兵庫東条、広島志和 (計22)</p>	
連結子会社	(株)キャディアン、(株)イワタ、(株)タツミ、(株)ナガキタ、(株)ヒラマツ、(株)SNビルテック (株)青森アトム、(株)石島機材製作所、ホリー(株)、ホリーコリア(株)(計10)	
株式上場	平成17年05月 JASDAQ証券取引所 (注)平成20年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました 平成19年12月 東京証券取引所市場第二部	

SRG Takamiya 企業グループ

社名	所在地	営業エリア	主な営業分野、プロジェクト
(株)青森アトム	青森県	青森	原子力関連施設
(株)タツミ	茨城県	茨城・北関東	大型商業施設、他
(株)ヒラマツ	静岡県	静岡周辺	第二東名高速道路
(株)ナガキタ	新潟県	新潟周辺	液化天然ガス基地
(株)イワタ	和歌山	近畿地区	地場建設会社 / プラント
(株)SNビルテック	東京・大阪	全国	都市型土木工事
(株)石島機材製作所	愛知	全国	シールド用レール、配管
(株)キャディアン	大阪 ベトナム	全国	作図、トレース、耐震診断
ホリー(株)	東京、他	全国	仮設機材・建材製造開発、太陽 光発電システム架台の製造
ホリーコリア(株)	韓国・釜山	韓国、日本国	

SRG Takamiya 企業グループ (2)

ホリー株式会社

代表者 : 代表取締役社長 森田 豊

資本金 : 4億円

本社所在地 : 東京都江東区

売上高 : 平成22年3月期 52億円
 平成21年3月期 52億円
 平成20年3月期 47億円

事業内容 : 金属加工
 ・建設用仮設機材・住宅用建材の開発製造及び販売
 ・建設用仮設機材レンタル
 ・太陽光発電パネル設置架台の開発製造及び販売

営業拠点 : 北海道・東北連絡事務所、東京事業所、中部事業所、金沢事業所
 大阪事業所、広島事業所、九州事業所

機材センター : つくば機材センター、岸和田機材センター (SRG:大阪岸和田センター内)

製造工場 : 国内 : 群馬工場、岐阜工場
 海外 : 釜山工場 (韓国)



IRコンタクト

エスアールジータカミヤ株式会社 経営企画室 広報・IR 担当:川畑

電話番号: 06-6375-8815

ファクシミリ: 06-6375-8827



当社IRサイト <http://www.srg.jp/ir/index.php>



HP: <http://www.srg.jp/>

E-mail: ir@srg.jp

住所: 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー21階

本資料は、平成23年3月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
 また、本資料は一部を除き平成22(2010)年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。
 本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。